

年金加入期間等報告書

No. _____

フリガナ			旧姓	所属所名																					
組合員氏名 (性別)	(男・女)			所属所コード																					
組合員番号				資格取得日	年 月 日																				
生年月日	昭和 年 月 日			基礎年金番号	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>							-													
				-																					
				年金待機者 (番号)	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>					-															
		-																							
年金加入期間	年金制度		資格取得年月日				資格喪失年月日				勤務先等		備考												
	ア 国民年金 ウ 厚年(国共) オ 厚年(私共)	イ 厚年(一般) エ 厚年(地共) カ その他	元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	ア 国民年金 ウ 厚年(国共) オ 厚年(私共)	イ 厚年(一般) エ 厚年(地共) カ その他	元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	ア 国民年金 ウ 厚年(国共) オ 厚年(私共)	イ 厚年(一般) エ 厚年(地共) カ その他	元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	ア 国民年金 ウ 厚年(国共) オ 厚年(私共)	イ 厚年(一般) エ 厚年(地共) カ その他	元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	ア 国民年金 ウ 厚年(国共) オ 厚年(私共)	イ 厚年(一般) エ 厚年(地共) カ その他	元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	ア 国民年金 ウ 厚年(国共) オ 厚年(私共)	イ 厚年(一般) エ 厚年(地共) カ その他	元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	離婚時みなし被保険者期間		元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	被扶養配偶者みなし被保険者期間		元号	年	月	日	元号	年	月	日															
	年金未加入期間等		元号	年	月	日	元号	年	月	日															
		元号	年	月	日	元号	年	月	日																
		元号	年	月	日	元号	年	月	日																

私の年金加入期間等について、上記のとおり報告します。

公立学校共済組合奈良支部長 殿 年 月 日

組合員氏名 _____

【年金制度について】

- ①[イ 厚年(一般)]: 一般厚生年金被保険者に該当(②から④に該当しないもの)
- ②[ウ 厚年(国共)]: 国共済厚生年金被保険者に該当(国家公務員共済組合員の期間)
- ③[エ 厚年(地共)]: 地共済厚生年金被保険者に該当(公立学校・地方職員・市町村職員共済組合員などの期間)
- ④[オ 厚年(私学)]: 私立学校教職員共済組合制度の加入者に該当

【年金加入期間の記入について】

1. [被保険者記録照会回答票]などの写しを添付することで、記入を省略しても差し支えありません。
2. 年金加入期間を記入いただく目的は、次の二つです。
 - ①組合員は、自身が加入してきた年金制度について、改めて確認すること
 - ②当共済組合は、当該組合員が過去に[ウ 厚年(国共)]若しくは[エ 厚年(地共)]又は[みなし被保険者]の期間の有無を確認すること
 ※当共済組合では、②以外の期間が詳細に記されていても、その期間について確認することはありません。
3. 次のとおり、記入を省略しても差し支えありません。ただし、自身が加入してきた年金制度については、必ず把握しておいてください。
 - ④上記2の②以外の期間のみであるが、5期間以上ある→今回の資格取得となる直前の1期間のみ記入してください。
 - ⑤上記2の②の期間も、その他の期間も複数ある→最終の②の1期間と今回の資格取得となる直前の1期間を記入してください。
 - ⑥転入転出を繰り返している(地方職員⇄公立⇄市町村職員)→今回の資格取得となる直前の1期間のみ記入してください。
4. みなし被保険者期間については、離婚による[ウ 厚年(国共)]又は[エ 厚年(地共)]の期間がある場合に記入してください。

【履歴書について】

退職される際、組合員期間に係る履歴書をご提出いただく必要がありますが、当支部ではその手続きを代行し、県担当課又は各市町村教育委員会等から履歴書の交付を受けます。

年金加入期間等報告書の記入について

1 「年金加入期間」欄には、公立学校共済組合の組合員となるまでの年金制度の加入期間等について、制度の種類ごとに、かつ、履歴順に次により記入してください。

(1) 「年金制度」欄は、該当する年金制度に○印を付してください。

なお、旧農林漁業団体職員共済組合法、旧公共企業体職員等共済組合法の適用を受けていた期間については、「その他」に○印を付するとともに、これらの法令の名称を「備考」欄に記入してください。

(2) 国民年金の第1号被保険者期間がある場合は、「勤務先等」欄に、例えば、「学生」、「自営業」、「無職」等と記入してください。

(3) 国民年金の第3号被保険者期間がある場合は、「勤務先等」欄に「被扶養配偶者」と記入してください。

2 出向等により退職することなく他の地方公共団体の職員となった場合には、その出向等の翌日をそれぞれ前の勤務先の「資格喪失年月日」欄及び後の勤務先の「資格取得年月日」欄に記入するとともに、共済組合の名称を「備考」欄に記入してください。

3 「離婚時みなし被保険者期間」欄には、離婚により地共済（国共済）厚生年金被保険者期間とみなされる期間を記入してください。

また、「被扶養配偶者みなし被保険者期間」欄には、被扶養配偶者であった期間が離婚により地共済（国共済）厚生年金被保険者期間とみなされる期間を記入してください。

4 「年金未加入期間等」欄には、20歳以上の期間のうち年金未加入期間又は国民年金の未納期間がある場合は、その期間の始期を「資格取得年月日」欄に、終期を「資格喪失年月日」欄に記入してください。

また、「勤務先等」欄には、例えば、「学生」、「自営業」、「無職」等と記入してください。

5 「年金加入期間」欄は、[被保険者記録照会回答票]などの写しを添付することで、記入を省略しても差し支えありません。

また、国民年金と厚生（一般）の出入りが多くある場合は、直近の2期間のみ記入してください。過去に公立学校共済組合奈良支部の期間がある場合は、その奈良支部での期間とそれ以降の期間を記入してください。

ただし、過去に国家公務員共済組合又は地方公務員共済組合の退職歴がある場合は、漏れなく記入してください。

参考

1 厚生年金の被保険者は、次の4種類に区分されています。

平成27年10月前の共済組合の組合員であった期間は、②から④までの該当するものとして記入してください。

① 一般厚生年金被保険者 …表面のイに該当

次の②から④までに該当しない厚生年金保険の被保険者が該当します。

② 国共済厚生年金被保険者 …表面のウに該当

国家公務員共済組合の組合員が該当します。

③ 地共済厚生年金被保険者 …表面のエに該当

地方公務員共済組合の組合員が該当します。（公立学校、市町村職員、地方職員共済組合はこれに該当します。）

④ 私学共済厚生年金被保険者 …表面のオに該当

私立学校教職員共済組合制度の加入者が該当します。

2 国民年金の被保険者は、次の3種類に区分されています。

① 第1号被保険者

日本国内に住所のある20歳以上60歳未満の人で、次の②及び③に該当しない方が該当します。

② 第2号被保険者

厚生年金保険の被保険者が該当します。

③ 第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者で、20歳以上60歳未満の人が該当します。

記入例

年金加入期間等報告書

No.

フリガナ	コウリツ ゴロウ	旧姓	所属所名	何々小学校										
組合員氏名 (性別)	公立 五郎	男・女	所属所コード	5	0	0	0	0	0					
組合員番号	999999		資格取得日	令和 7 年 4 月 1 日										
生年月日	昭和 11 年 5 月 5 日		基礎年金番号	1	2	3	4	-	5	6	7	8	9	0
			年金待機者 (番号)			-								

年金加入期間	年金制度	資格取得年月日				資格喪失年月日				勤務先等	備考
	ア 国民年金 イ 厚年(一般) ウ 厚年(国共) エ 厚年(地共) オ 厚年(私共) カ その他	元号	年	月	日	元号	年	月	日		
年金加入期間	ア 国民年金 イ 厚年(一般) ウ 厚年(国共) エ 厚年(地共) オ 厚年(私共) カ その他	R	元	5	5	R	4	4	1	学生	
	ア 国民年金 イ 厚年(一般) ウ 厚年(国共) エ 厚年(地共) オ 厚年(私共) カ その他	R	4	4	1	R	7	4	1	△△株式会社	
	ア 国民年金 イ 厚年(一般) ウ 厚年(国共) エ 厚年(地共) オ 厚年(私共) カ その他	R	7	4	1					何々小学校 教諭	公立共済
	ア 国民年金 イ 厚年(一般) ウ 厚年(国共) エ 厚年(地共) オ 厚年(私共) カ その他										
	ア 国民年金 イ 厚年(一般) ウ 厚年(国共) エ 厚年(地共) オ 厚年(私共) カ その他										
離婚時みなし被保険者期間		元号	年	月	日	元号	年	月	日		
被扶養配偶者みなし被保険者期間		元号	年	月	日	元号	年	月	日		
年金未加入期間等		元号	年	月	日	元号	年	月	日		
		元号	年	月	日	元号	年	月	日		

私の年金加入期間等について、上記のとおり報告します。

公立学校共済組合奈良支部長 殿

令和 7 年 4 月 1 日

組合員氏名 公立 五郎

【年金制度について】

- ① [イ 厚年(一般)] : 一般厚生年金被保険者に該当 (②から④に該当しないもの)
- ② [ウ 厚年(国共)] : 国共厚生年金被保険者に該当 (国家公務員共済組合員の期間)
- ③ [エ 厚年(地共)] : 地共厚生年金被保険者に該当 (公立学校・地方職員・市町村職員共済組合員などの期間)
- ④ [オ 厚年(私学)] : 私立学校教職員共済組合制度の加入者に該当

【年金加入期間の記入について】

1. [被保険者記録照会回答票]などの写しを添付することで、記入を省略しても差し支えありません。
2. 年金加入期間を記入していただく目的は、次の二つです。
 - ① 組合員は、自身が加入してきた年金制度について、改めて確認すること
 - ② 当共済組合は、当該組合員が過去に[ウ 厚年(国共)]若しくは[エ 厚年(地共)]又は[みなし被保険者]の期間の有無を確認すること
 ※当共済組合では、②以外の期間が詳細に記されていても、その期間について確認することはありません。
3. 次のとおり、記入を省略しても差し支えありません。ただし、自身が加入してきた年金制度については、必ず把握しておいてください。
 - ① 上記2の②以外の期間のみであるが、5期間以上ある→今回の資格取得となる直前の1期間のみ記入してください。
 - ② 上記2の②の期間も、その他の期間も複数ある→最終の②の1期間と今回の資格取得となる直前の1期間を記入してください。
 - ③ 転入転出を繰り返している(地方職員⇄公立⇄市町村職員)→今回の資格取得となる直前の1期間のみ記入してください。
4. みなし被保険者期間については、離婚による[ウ 厚年(国共)]又は[エ 厚年(地共)]の期間がある場合に記入してください。

【履歴書について】

退職される際、組合員期間に係る履歴書をご提出いただく必要がありますが、当支部ではその手続きを代行し、県担当課又は各市町村教育委員会等から履歴書の交付を受けます。